平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名　株式会社アルファ　　上場取引所　東
コード番号　3434　URL　http://www.kk-alpha.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木之瀬　茂
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員　(氏名) 大谷　邦昭　TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日　平成24年2月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	34,763	△1.6	1,250	△24.3	853	△30.4	637	△34.3
23年3月期第3四半期	35,318	27.2	1,652	81.8	1,226	85.3	970	120.2

(注) 包括利益　24年3月期第3四半期　108百万円　(△78.7%)　23年3月期第3四半期　509百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	66.78	―
23年3月期第3四半期	101.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	36,302	17,452	46.3	1,759.18
23年3月期	36,569	17,707	46.5	1,779.40

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　16,804百万円　23年3月期　16,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	15.00	―	18.00	33.00
24年3月期	―	13.00	―		
24年3月期(予想)				17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	△1.8	1,500	△39.0	1,200	△38.1	800	△47.3	83.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、【添付資料】3ページ「2．サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	10,200,000 株	23年3月期	10,200,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	647,279 株	23年3月期	647,279 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	9,552,721 株	23年3月期3Q	9,552,759 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に関しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の世界経済は、タイ国における洪水被害により主としてASEAN地域の経済成長に影響を及ぼしました。また、米国経済の回復は鈍く、欧州経済においても債務問題の深刻化で、さらに景気が減速してきました。日本経済は、３月に発生した東日本大震災の影響による悪化から持ち直しの傾向が見られたものの、急激な円高の進行による企業収益悪化の傾向が生じており、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要取引先となります自動車業界については、中国及び新興国市場の生産台数が拡大基調にあり、日本では輸出を含めた国内生産も回復基調となってきました。

セキュリティ機器業界は、日本国内で一部に復興需要があるものの、依然として厳しい状況にあります。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期比1.6%減の347億63百万円となりました。利益面については、減収影響により、営業利益は12億50百万円（前年同四半期比24.3％減少）、経常利益は８億53百万円（同30.4％減少）、四半期純利益は６億37百万円（同34.3％減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が減少したことにより、売上高は184億15百万円（前年同四半期比6.2％減少）になったものの、原価改善により営業利益は９億16百万円（同52.5％増加）となりました。

自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の自動車生産台数は増加したものの、円高影響があり、また工場閉鎖による一時費用が生じたこと等により、売上高は61億89百万円（同5.7％減少）、営業損失は４億51百万円（前年同四半期は営業損失３億54百万円）となりました。

自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、中国、タイにおける主要得意先の自動車生産台数が増加したことにより増収となりましたが、中国における直接材料費、直接労務費の上昇、タイにおける生産安定のための費用が発生したこと等により、売上高は107億93百万円（同4.3％増加）、営業利益は７億4百万円（同40.9％減少）となりました。

セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、タイの洪水の影響はあったものの、住設機器製品の売り上げは増加致しました。しかし、新規ロッカー受注及び入替え需要が減少した影響で、売上高は37億16百万円（同0.5％増加）、営業利益は72百万円（同49.0％減少）となりました。

セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、売上高は115百万円（同12.9％増加）、営業利益は9百万円（同56.1％減少）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は208億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億97百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が５億93百万円増加しましたが、現金及び預金が９億30百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は154億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億30百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が３億49百万円、無形固定資産が１億82百万円減少しましたが、投資その他の資産が６億62百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、363億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億67百万円減少いたしました。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は123億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億76百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が２億29百万円、賞与引当金が１億58百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は65億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億64百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が82百万円、その他が３億64百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、188億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。また、有利子負債は、70億８百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億88百万円増加いたしました。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は174億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億55百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が３億41百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が１億49百万円、為替換算調整勘定が３億85百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.3%（前連結会計年度末は46.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により11億62百万円の増加、投資活動により14億91百万円の減少、財務活動により６億５百万円の減少となりました。また「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」との差額であるフリー・キャッシュ・フローは３億28百万円の支出となり、前年同四半期の19億79百万円の収入から23億７百万円の減少となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第３四半期連結会計期間末における資金の残高は、前第３四半期連結会計期間末に比べ13億91百万円減少の57億52百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は11億62百万円となり、前年同四半期の33億８百万円の収入に対し21億45百万円の減少となりました。これは、売上債権の増加、仕入債務の増減額の減少等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は14億91百万円となり、前年同四半期の13億29百万円の支出に対し１億62百万円の支出の増加となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による支出は６億５百万円となり、前年同四半期の93百万円の支出に対し５億11百万円の支出の増加となりました。これは主として長期借入金による資金調達が減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、タイの洪水影響及び2012年３月末の米国子会社における生産終了に伴う一時費用の影響を見込み、平成23年12月27日公表した連結業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,764	5,834
受取手形及び売掛金	8,086	8,679
商品及び製品	1,505	1,477
仕掛品	890	941
原材料及び貯蔵品	2,978	2,841
その他	1,079	1,114
貸倒引当金	△31	△12
流動資産合計	21,273	20,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,967	3,908
機械装置及び運搬具（純額）	3,551	2,611
土地	1,525	1,504
その他（純額）	2,272	2,942
有形固定資産合計	11,316	10,967
無形固定資産	1,166	984
投資その他の資産	2,812	3,474
固定資産合計	15,295	15,426
資産合計	36,569	36,302
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,317	8,087
短期借入金	1,879	1,867
未払法人税等	151	107
賞与引当金	410	252
製品保証引当金	223	192
事業構造改善引当金	126	95
その他	1,697	1,727
流動負債合計	12,806	12,329
固定負債		
長期借入金	3,465	3,548
退職給付引当金	184	201
資産除去債務	67	67
その他	2,338	2,702
固定負債合計	6,055	6,520
負債合計	18,861	18,849

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	12,442	12,784
自己株式	△578	△578
株主資本合計	17,576	17,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	897	748
為替換算調整勘定	△1,475	△1,861
その他の包括利益累計額合計	△578	△1,113
少数株主持分	709	647
純資産合計	17,707	17,452
負債純資産合計	36,569	36,302

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	35,318	34,763
売上原価	30,122	29,767
売上総利益	5,196	4,995
販売費及び一般管理費	3,543	3,745
営業利益	1,652	1,250
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	31	56
不動産賃貸料	21	19
その他	41	56
営業外収益合計	106	149
営業外費用		
支払利息	115	103
為替差損	389	421
その他	27	21
営業外費用合計	532	546
経常利益	1,226	853
特別利益		
固定資産売却益	2	3
貸倒引当金戻入額	98	－
補助金収入	－	29
その他	11	－
特別利益合計	111	32
特別損失		
固定資産除売却損	5	19
投資有価証券評価損	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	－
その他	5	－
特別損失合計	88	20
税金等調整前四半期純利益	1,249	865
法人税、住民税及び事業税	228	232
法人税等調整額	40	△25
法人税等合計	268	207
少数株主損益調整前四半期純利益	980	658
少数株主利益	9	20
四半期純利益	970	637

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	980	658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	△149
為替換算調整勘定	△538	△400
その他の包括利益合計	△470	△549
四半期包括利益	509	108
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	548	111
少数株主に係る四半期包括利益	△38	△3

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,249	865
減価償却費	1,491	1,454
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△99	△19
受取利息及び受取配当金	△42	△74
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	－
支払利息	115	103
投資有価証券評価損益（△は益）	1	0
固定資産売却損益（△は益）	0	△2
固定資産除却損	2	18
賞与引当金の増減額（△は減少）	△107	△158
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△28	△31
売上債権の増減額（△は増加）	△124	△930
たな卸資産の増減額（△は増加）	△631	△114
仕入債務の増減額（△は減少）	1,635	203
長期未払金の増減額（△は減少）	△67	△93
その他	215	225
小計	3,686	1,447
利息及び配当金の受取額	38	80
利息の支払額	△108	△85
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△308	△279
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,308	1,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,277	△1,508
有形固定資産の売却による収入	130	724
無形固定資産の取得による支出	△95	△23
その他	△87	△685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,329	△1,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400	－
短期借入金の返済による支出	△400	－
長期借入れによる収入	1,915	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,288	△1,357
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△286	△296
その他	△434	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93	△605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△198	43
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,686	△891
現金及び現金同等物の期首残高	5,456	6,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,143	5,752

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	自動車部品事業（日本）	自動車部品事業（北米）	自動車部品事業（アジア）	セキュリティ機器事業（日本）	セキュリティ機器事業（海外）	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,627	6,499	9,457	3,666	67	35,318	－	35,318
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,996	62	893	32	35	5,020	△5,020	－
計	19,623	6,562	10,350	3,698	102	40,338	△5,020	35,318
セグメント利益又は損失（△）	601	△354	1,190	142	21	1,601	51	1,652

（注）１.セグメント利益の調整額51百万円は、セグメント間取引消去51百万円であります。

２.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	自動車部品事業（日本）	自動車部品事業（北米）	自動車部品事業（アジア）	セキュリティ機器事業（日本）	セキュリティ機器事業（海外）	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,985	6,149	9,863	3,687	77	34,763	－	34,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,429	39	930	28	38	4,467	△4,467	－
計	18,415	6,189	10,793	3,716	115	39,231	△4,467	34,763
セグメント利益又は損失（△）	916	△451	704	72	9	1,250	△0	1,250

（注）１.セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去△0百万円であります。

２.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。